学校番号	２１２

平成 31 年度　国語科

教科	国語科	科目	古典Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「古典Ｂ」　（教育出版）						
副教材等	プレミアムカラー国語便覧　（数研出版） 解析古典文法　（桐原書店） みるみる覚える古文単語３００＋敬語３０　（いいずな書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・本文写し、意味調べ、口語訳などの予習を必ず独力でやりましょう。
・ネット上にあがっている口語訳は不正確な場合が多く、自分で考える力がつかないので、当然のことながら決して丸写しをしてはいけません。
・小テストは毎回満点を取るつもりで臨みましょう。
・古文単語や文法はその都度、しっかり暗記しましょう。

2　学習の到達目標

・古典に用いられている語句の意味や用法、および文の構造が理解できる。
・古典を読んで、内容や構成を展開に即して的確にとらえることができる。
・古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察できる。
・古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにできる。
・古典を読んで、我が国の文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解を深めることができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c：書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。			古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	・行動の観察 ・記述の点検（ノート・ワークシート等）			・記述の確認・分析（ノート・ワークシート等） ・定期考査	・行動の観察 ・定期考査 ・小テスト ・記述の点検（ノート・ワークシート等）

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	bc	d	e		
1学期中間	随筆・和歌	「中納言参り給ひて」(枕草子) 「王朝の歌」 ※古典文法 助動詞・和歌の修辞	○		○	○	a:登場人物の心情や作品の背景を理解しようとしている。和歌についての理解や関心を深めようとしている。 d:内容を理解し、登場人物の心情を読み取っている。和歌を読んで、歌に詠みこまれた古人の思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。 e:助動詞・和歌の修辞について知識を身につけている。作者と作品についての知識を深めている。	a:行動の観察及び記述の点検 b:グループでの話し合いや発表の観察 d:記述の確認・分析及び定期考査 e:行動の観察及び小テスト・定期考査、記述の点検
1学期期末	日記・作り物語	「東路の道の果て」(更級日記) 「光源氏の誕生」(源氏物語) ※古典文法　助動詞	○		○	○	a:登場人物の心情や作品の背景を理解しようとしている。 d:内容を理解し、登場人物と作者の心情を読み取っている。 e:助動詞について知識を身につけている。作者と作品についての知識を深めている。	a:行動の観察及び記述の点検 c:現代語訳・感想文の点検 d:記述の確認・分析及び定期考査 e:行動の観察及び小テスト・定期考査、記述の点検
2学期中間	歴史物語・近世の文学	「花山天皇の出家」(大鏡) 「行く春を」(去来抄) ※古典文法　助詞	○		○	○	a:登場人物の心情や作品の背景を理解しようとしている。 d:内容を理解し、登場人物と作者の心情を読み取っている。 e:助詞について知識を身につけている。作者と作品についての知識を深めている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認・分析及び定期考査 e:行動の観察及び小テスト・定期考査、記述の点検

2学期期末	漢文・漢詩文	「四面楚歌」(史記) 「人之性悪」(荀子) 日本の漢詩文 ※漢文の句法	○		○	○	a:漢文・漢詩文の世界観や考え方を理解しようとしている。 d:漢文の内容を理解し、日本でもよく使われる「四面楚歌」や「性悪説」の意味を理解している。作者が表現しようとした内容を読み取っている。 e: 漢文の句法について知識を身につけている。作者と作品についての知識を深めている。	a:行動の観察及び記述の点検 b:グループでの話し合い及び発表の観察 d:記述の確認・分析及び定期考査 e:行動の観察及び小テスト・定期考査、記述の点検
3学期学年末	軍記物語	「能登殿最期」(平家物語) ※古典文法 活用のない自立語 紛らわしい語の識別	○		○	○	a:登場人物の心情や作品の背景を理解しようとしている。 d: 内容を理解し、登場人物の心情を読み取っている。 e: 活用のない自立語や紛らわしい語の識別法についての知識を身につけている。作品についての知識を深めている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認・分析及び定期考査 e:行動の観察及び小テスト・定期考査、記述の点検

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力　　c:書く能力

d:読む能力　　e:知識・理解

※原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。